

## 再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	農業農村整備事業（たん水防除事業）				
地区名	蟹宝地区				
事業箇所	海部郡蟹江町				
事業のあらまし	<p>本地区は、愛知県の西部のあま市と蟹江町にまたがる流域176haの低平な農村地帯に位置している。本地区の排水は、洪水時のみでなく常時も含めて全て農業用排水機場に依存しており、2か所に設置された排水機場（蟹宝排水機場、須成排水機場）により蟹江川へ強制排水されている。</p> <p>しかし、近年の都市化の進展による降雨流出量の増加や、既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により地区内の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じていた。</p> <p>このため、機能低下が著しい排水機場1か所（蟹宝排水機場）を更新整備することにより湛水被害を防止し、農業経営の安定と県民生活の安全・安心を図ることを目的に、平成20年度からたん水防除事業を実施している。</p>				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>機能低下した排水機場を更新整備し、農地、農業用施設及び公共施設の湛水被害を防止する。 （基準雨量 336mm/3日、1/20年確率雨量）</p>				
計画変更の推移		採択時(H20)	再評価時(H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H20～H26	H20～H29		
	事業費(億円)	8.1	7.8		
	経費内訳	工事費	6.4	6.6	自然増
		用補費	0.1	0.1	変動なし
その他		1.6	1.1	精査による減	
事業内容	排水機場 1 機場	排水機場 1 機場	変動なし		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <p>都市化の進展による降雨流出量の増加や既設排水機場の老朽化に伴う排水能力の低下により排水状況が悪化し、湛水被害が生じていることから、早急に更新し、排水能力を向上する必要がある。</p> <p>【再評価時の状況】</p> <p>計画施設は、地区の湛水被害を防止するための基幹的な排水施設であり、地区内の排水能力不足は変わっておらず、その重要性、整備の必要性は事前評価時と同程度と考えられる。</p> <p>【変動要因の分析】</p> <p>地区内の排水能力不足や施設の老朽化は改善されておらず、事業の必要性は依然として高い。</p>			
	判定B	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>		
		<p>【理由】</p> <p>地区の排水能力不足は変化しておらず、事業の必要性は事業着手時と同等であるため。</p>			



Ⅲ 対応方針	
<b>継続</b>	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容	
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>本事業は想定規模と同等の降雨がなければ効果を検証できないため、事業完了後5年以内に想定規模と同等の降雨が発生した場合に効果を検証する。</p>	